

その指導、子どものため？ おとなのため？

ユニセフ

「子どもの権利とスポーツの原則」 実践のヒント

公益財団法人日本ユニセフ協会

「子どもの権利とスポーツの原則」起草委員会〔編〕



Children's Rights in Sport Principles

指導者と保護者に読んでほしい。
日本生まれの、
グローバルスタンダード

日本ユニセフ協会大使

長谷部 誠選手 推薦！



ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」特設サイト
childinsport.jp



内容

高校野球の球数制限の議論やバスケットボールの「暴力暴言根絶」など、近年スポーツにおける子どもの健康面への配慮や安心・安全な環境づくりが急速にすすんでいる。それを受け、スポーツ関係者が日々直面するであろう課題解決のヒントを、ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」に則して解説する。

内容構成

プロローグ(日本ユニセフ協会)

I 「子どもの権利とスポーツの原則」とは？

- 1 「子どもの権利とスポーツの原則」誕生の背景と概要(日本ユニセフ協会 広報・アドボカシー推進室)
- 2 スポーツ界から見た「子どもの権利とスポーツの原則」(山崎卓也・高松政裕)
- 3 「子どもの権利とスポーツの原則」から見た運動部活動の安全と課題(内田良)
- 4 インクルーシブとダイバーシティを謳う「子どもの権利とスポーツの原則」(マセソン美季)

II 「子どもの権利とスポーツの原則」実践のヒント

- 5 限られた時間の練習で大丈夫？：全国有数のバスケットボール強豪校の顧問に聞く(飯田研吾)
- 6 「うちの子が、なぜ試合に出られないか」にどう応える？(土屋裕睦)
- 7 「投球制限」だけじゃない(石川智雄)
- 8 指導者にルールはないのか？(野瀬清喜)

column 勝利至上主義から子どもの将来を一番に考えた指導へ(阪長友仁)

- 9 企業だからできること：株式会社アシックス 担当者に聞く(日本ユニセフ協会 広報・アドボカシー推進室)
- 10 こんなやり方でもエリートは育つ：ノルウェーとニュージーランドからの報告(山崎卓也・飯田研吾)

column 相手をたたえるセレモニー：全国スポーツ少年団ホッケー交流大会の取り組み(日本ホッケー協会スポーツ少年団部会)

III [対談] スポーツには勝利より重要な価値がある(鈴木大地×筒香嘉智×大滝麻未)

付録

子どもの権利とスポーツの原則
「子どもの権利とスポーツの原則」アセスメントツール

エピローグ(山崎卓也)

Children's Rights in Sport Principles

その指導、子どものため？ おとなのため？

ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」実践のヒント

公益財団法人 日本ユニセフ協会、「子どもの権利とスポーツの原則」起草委員会[編]

ISBN978-4-7503-5018-9 ◎定価(本体1,500円+税)

ご注文方法

◎最寄りの書店へ、このチラシをご持参の上、ご注文ください。◎直送をご希望の方は、電話またはFAXにて弊社へお申し込みください。代金引き換え郵便にてお送りいたします。代金は配達の方にお支払いください。書籍代(本体価格+消費税)に加え、送料として一律300円がかかります。

団体名
学校名

お名前

ご住所 〒

お電話 () FAX ()

メールアドレス

ご注文数

冊

明石書店

〒101-0021
東京都千代田区外神田6-9-5
TEL.03-5818-1171 FAX.03-5818-1174
URL=<http://www.akashi.co.jp/>
E-mail=eigyo@akashi.co.jp
●図書目録送呈

書店
登録
印